

SGU 四国ゴルフ連盟会報

No.58

発行/四国ゴルフ連盟

松山市福音寺町55-1

〒790-0921

TEL 089-990-3260

FAX 089-990-3261

2015 (平成27) 年度 SGU 主催競技開幕 第35回四国女子アマチュアゴルフ選手権競技

レオマ高原ゴルフ倶楽部 (5/20・21)

辻岡 愛理 選手 (小豆島シーサイドG) が初優勝

四国ゴルフ連盟主催競技の開幕となる第35回四国女子アマチュアゴルフ選手権が5月20・21日の2日間、徳島県のレオマ高原ゴルフ倶楽部で開催され、香川西高校3年の辻岡愛理選手が初日の4位タイから逆転の初優勝を飾った。一昨年、中学3年で優勝した河本結選手(松山国際G)は2度目の優勝をねらったが、惜しくも2位に終わった。また、ジュニア勢が活躍する本大会で、初日首位スタートを切った社会人の堂西亜希子選手(屋島C)は4位タイに食い込んだ。

上位7名が日本女子アマチュアゴルフ選手権(6月23日~5日間 北海道 札幌G)に出場するが、優勝した辻岡選手をはじめ3名を香川西高ゴルフ部が占めた。

また本大会は、日本女子ミッドアマチュアゴルフ選手権(11月19・20日 福岡県 ザ・クイーンヒルズG)及び日本女子シニアゴルフ選手権(11月5・6日 富山県 呉羽C)の予選を兼ねている。



辻岡愛理 選手

2015年度 (第35回) 四国女子アマチュアゴルフ選手権競技

(5,966y Par72)

POS	PLAYER	+/-	CLUB	TOT	1R	2R	POS	PLAYER	+/-	CLUB	TOT	1R	2R
優勝	辻岡 愛理 ★	-4	小豆島シーサイドC	140	71	69	19	公受貴久美	+8	宇和島C	152	75	77
2	河本 結 ★	-2	松山国際G	142	70	72	21	岡 初紀	+11	屋 島C	155	77	78
3	松原 果音 ★	-1	小豆島シーサイドC	143	71	72		田所茉莉香	+11	道 後G	155	77	78
4	大西 樹里 ★	±0	パシフィックG	144	72	72		藤井 夢々	+11	小豆島シーサイドC	155	76	79
	堂西亜希子 ★ ☆	±0	屋 島C	144	69	75	24	岡田 愛梨	+12	アルファ津田C	156	84	72
6	吉原奈生子 ★	+1	新琴南G C	145	70	75		藤井 里香 ○ ☆	+12	土 佐C	156	77	79
7	後藤田寧々 ★	+3	徳 島C	147	75	72		藤内 忍 ☆	+12	松山国際G	156	76	80
	石川 夢香	+3	滝の宮C	147	75	72	27	大西 菜生	+13	琴 平C	157	81	76
	高橋亜可里	+3	チサンC北条	147	74	73		中川 月奈	+13	松山国際G	157	77	80
10	中野 なゆ	+4	スカイベイG	148	73	75		高橋英里子	+13	松山シーサイドC	157	74	83
11	堀 さんご	+5	新琴南G C	149	73	76	30	中谷 菜由	+14	小豆島シーサイドC	158	80	78
	山口 里緒	+5	こんぴらLG	149	73	76		川西 章子 ☆	+14	屋 島C	158	79	79
13	江口 紗代	+6	小豆島シーサイドC	150	76	74		二宮 薫 ☆	+14	今 治C	158	78	80
	岡田 美桜	+6	御 所C	150	74	76		杉永安里紗	+14	スカイベイG	158	76	82
	安藤 京佳	+6	西 条G	150	72	78		細谷 奈々	+14	新琴南G C	158	73	85
16	手束 雅	+7	徳 島C	151	74	77	35	富田 佳子 ☆	+15	讃 岐C	159	81	78
	鴻上みらい	+7	新居浜C	151	74	77		松原 由美 ☆	+15	志 度C	159	77	82
	三木 逸子 ○ ☆	+7	土 佐C	151	74	77		生田 暁美	+15	徳 島C	159	76	83
19	谷本 純菜	+8	徳 島C	152	80	72							

★日本女子アマ出場者
☆日本女子ミッドアマ出場者
○日本女子シニア出場者

第35回四国アマチュアゴルフ選手権競技

高松グランドカントリークラブ <6/3～6>

二宮 慎堂 選手 (今治C) が2年ぶり2度目の優勝

第35回四国アマチュアゴルフ選手権が6月3～6日の4日間高松グランドカントリークラブ鹿庭コースで開催され、二宮慎堂選手が2度目の優勝を果たした。父親の二宮英二選手の優勝回数に並ぶ快挙となった。

初日は、高校3年生の小西勇輝選手(松山国際G)が8アンダーの驚異的なスコアで飛び出したのに対し、2日目二宮選手が6アンダーの成績で首位に並び、3～4日目の決勝ラウンドでも上位選手の1打を争う接戦が続いたが、最終日18番でバーディーを奪った二宮選手が逃げ切った。惜しくも2位となった大野由真選手(SGU)は、昨年に続く2位となった。

なお、今回の日本アマは100回を記念する大会で、上位10名の選手に出場権が与えられた。7月8～13日兵庫県の廣野ゴルフ倶楽部及び小野ゴルフ倶楽部で開催される第100回日本アマチュアゴルフ選手権での活躍を期待したい。



二宮慎堂 選手

2015年度 (第35回) 四国アマチュアゴルフ選手権競技

(6,786y Par72)

POS	PLAYER	+/-	CLUB	GTOT	1R	2R	3R	4R	POS	PLAYER	+/-	CLUB	GTOT	1R	2R	3R	4R
優勝	二宮 慎堂 ★	-3	今 治C	285	71	66	75	73	19	続木 仁	+10	新居浜C	298	78	75	73	72
2	大野 由真 ★	-2	SGU	286	69	69	75	73		吉本 翔雄	+10	高松ゴールドC	298	72	75	78	73
3	植本 健介 ★	-1	阿 南C	287	71	69	73	74	21	浅野正太郎	+11	高松ゴールドC	299	81	72	72	74
4	谷本伊知郎 ★	±0	高松グランドC	288	71	72	70	75	22	杉原 大河	+12	グランディ鳴門G	300	72	76	76	76
5	三木 一外 ★	+1	こんぴらLG	289	74	69	73	73	23	和田 嘉晴	+13	パシフィックG	301	71	78	77	75
6	亀代 順哉 ★	+3	阿 南C	291	70	73	75	73		公受 将輝	+13	宇和島C	301	82	69	75	75
	板東 篤司 ★	+3	徳 島C	291	70	74	73	74		尾崎 竜二	+13	阿 南C	301	71	73	81	76
	大藤 友理 ★	+3	グリーンフィールドG	291	70	74	70	77		黒川 航輝	+13	讃 岐C	301	73	75	75	78
9	井上 貴弘 ★	+4	スカイベイG	292	71	75	74	72	27	後上里 正	+14	小豆島シーサイドG	302	74	77	77	74
	小西 勇輝 ★	+4	松山国際G	292	64	73	79	76	28	板東 寿匡	+15	徳 島C	303	73	79	80	71
11	吉田 泰基	+5	小豆島シーサイドG	293	73	70	77	73		大西 晴来	+15	エリエールG	303	78	72	76	77
12	竹川 雄喜	+6	屋 島C	294	74	71	74	75		川原 正寛	+15	屋 島C	303	76	74	75	78
	西山 大広	+6	高 松C	294	74	73	71	76		河本 力	+15	松山国際G	303	77	70	78	78
14	今井 忠雄	+7	高 知G	295	73	74	77	71		東 大智	+15	新琴南G	303	73	76	74	80
	林元 将崇	+7	スカイベイG	295	77	72	70	76	33	増田 康平	+16	道 後G	304	79	77	76	72
	小川 貴大	+7	サンセットヒルズC	295	73	71	74	77		加藤 翔	+16	讃 岐C	304	82	72	77	73
17	杉原 悠太	+9	新琴南G	297	66	72	82	77		橋本 和樹	+16	御 所C	304	75	72	81	76
	井上 智一	+9	土佐ユートピアC	297	68	75	75	79		岡田 晃平	+16	スカイベイG	304	75	78	75	76

★日本アマ出場者

2015年度 第67回四国グランドシニア会春季競技会

増田 榮作さん (こんびらレイクサイドG) が優勝

四国ゴルフ連盟グランドシニア会主催の春季ゴルフ競技が、香川県幹事 松岡孝雄さんのお世話で5月12日エリエールゴルフクラブで開催され、近年にない108名もの参加となった。また女性の参加も7名と定着してきた。

残念ながら天候に恵まれず正午頃から大雨となり、午前中ハーフでの勝負となった。運が大きく作用する結果となったが、その運を呼び寄せたのが増田さんと言える。(もちろん実力もあつてのこと。)



増田榮作さん

【次回秋季競技会は松山ゴルフ倶楽部を予定】

2015年度 第67回 四国グランドシニア会 春季競技会 成績表

(Par72 男子:5,711yd 女子:5,141yd)

順位	氏名	所属	NET	GRSS
優勝	増田 榮作	こんびらL G	25	41
2	伊東 隆弘	新居浜C	31	36
3	鍋坂 英憲	鮎滝C	32	37
4	山田 俊子	ロイヤル高松C	32	43
5	清水 格	満濃ヒルズC	32	46
6	大西 哲	琴平C	32	42
7	黒河 清	新居浜C	32	36
8	高橋 献樹	サンセットヒルズC	32	41
9	鴨井 康彦	こんびらL G	33	38
10	山本 武敏	松山G	33	42

[ベストグロス] 伊東隆弘(新居浜C) 36

[80歳以上ベストグロス] 小野忠夫(こんびらL G) 41

[女性ベストグロス] 山田俊子(ロイヤル高松C) 43

四国グランドシニア会 会員募集!!

四国ゴルフ連盟加盟クラブの会員で男性70歳以上、女性60歳以上であれば、どなたでもご加入いただけます。

入会料も無料で、お好きな時にご参加いただくので結構です。

特に女性に優しいグランドシニア会を目指しており、女性には不思議と賞品が当たりますので、多くの方のご参加をお待ちしています。

ティ (Teeについて (その2))

前回号で日常使っているティがロウエルという老歯科医の考案により始まったことを書きました。

このロウエル歯科医の事業は意外にも大当たりし、1924年度の収支決算は純益3万5千ドルを挙げ、翌年には10万ドルになっています。その当時のアメリカではすでに2千以上のゴルフ・クラブがあり、ゴルファーも200万を超えていたといわれていました。老歯科医のロウエル氏は依然としてゴルフを楽しみながら歯科医としての仕事を続け、ティの製作会社であるレッディ社は息子に任せていました。

レッディ・ティの人気は全国に広がって行きました。まさに黄金時代を築いたのです。その頃のニューヨーク最大の宝石店ランバート商会もこの流行をいち早く取り入れ時計の鎖や腕輪の装飾に使うために金や銀のベッグを作って売り出し、大変な特許料をレッディ社に支払っていました。また、1928年頃はその名声も最高潮に達し、グリーン・ブルック・カントリークラブに全米のプロを招待したりしていましたが、その頃から次第に売り上げも低下していったのです。その原因は何処にもあります偽物が出回ってきたためです。そのため会社は特許侵害の訴訟を起こしたのですが、件数が多くとても手が回らず、また訴訟費用も莫大なため終に諦めてしまったのです。一般ゴルファーもレッディ社の作る良質の材料品よりも粗悪な材料の安物を使うようになり、そうしますと世の中には模造品が氾濫しだしたのです。その時、ロウエル老は「例え全知全能の神が、いかに素晴らしい特許品を得ても、それは僅か1週間以内に侵害の憂き目に遭うだろう」と明言を吐いています。

その頃、レッディ社特許侵害件数1千件、訴訟費用15万ドルにもなっていたそうです。その頃のレッディ社製のものは18本入り1箱25セントを15セントに下げましたが、模造品も又値下げして対抗していました。その後、アメリカ全土を襲った不景気の嵐に吹きまわれ、数百のゴルフクラブが閉鎖の憂き目に遭いゴルフどころでなくなり、この会社も倒産の下り坂を下ったのです。われわれが日常使っているあの小さなティにもこのような栄枯盛衰の歴史があったのです。

(T.K)

ギヤラリー席

わがコースの名物ホール その3

松山ゴルフ倶楽部

8番ホール パー3 (BT166Y、RT141Y)

8番ホールは、別名「鰻の寝床」と呼ばれている。この斜め横長のホールが運命を変える。風を読み、落としどころを考える楽しみは、即悲しみに直結する。グリーンは形状から「鰻の寝床」と呼ばれるが、足形 (Footprint) にもそっくりだ。グリーンは周囲は、アリソンバンカーが取り囲んでいる。

打ち下ろしで距離も短い。正確なショットでグリーンに乗せないと打ち上げの難しいアプローチになる。バンカーに入れば、アリソンバンカーのはしごも覚悟しなければならない。

コース設計者の上田治氏は、旧制松山高等学校から京都帝国大学に進み、その在学中に恩師の強い勧めでC・H・アリソン設計の廣野GCの造成現場に助手として加わっている。廣野GCの完成後、グリーンキーパーとして働いたが、造園学の知識を買われたのは言うまでもない。

後日、名設計家として評価される基礎となったのは、C・H・アリソンの影響によるところ大である。

松山ゴルフ倶楽部のバンカーは、すべてアリソンバンカーとなっている。



わがコースの名物ホール その4

徳島ゴルフ倶楽部 (吉野川コース)

5番ホール (BT560Y、RT509Y)

・唯一のロングホール

徳島市街地近辺に位置し、全体的にフラットでアップダウンが少なく、基本的にはウオーキングコースといえる。すぐ北側には四国の大河『吉野川』が滔々と流れており、プレイヤーの多くは憩いの場として、また、健康増進を兼ねてラウンドされている。

殆どのホールでグリーンがティー台からまっすぐに見られるが、各コースの幅は決して広くはなく、白杭が待ち構えており、正確なショットが求められる。その中で、5番のロングホールは、緩やかに左ヘドッグレッグしているため、唯一ティー台よりグリーンは臨めず、春・夏は南東の、秋・冬は北西の風が吹き、プレイヤーを悩ませている。ティーショットは他のホール以上に正確なショットが要求され、左サイドが最短だが狙いすぎるとボールは吉野川の藻屑となるため持ち球がドロ系の人には厄介かもしれない。では右サイドはと言えば、広さはあるがバンカーや樹木があり距離も残ってしまう。そのためセカンドショットで思わずカんでOBするプレイヤーも少なくない。グリーン狙いのサードショットも風の向きによって持つクラブが数番手違うことがある。要するにこのコースを制覇するには『正確なショット』と『風とお友達になる』ことである。

楽しみは、夏場の早朝にスタートをすれば、ここ5番ホールで朝霧の吉野川のその雄大で神秘を帯びた景色を見て感動を覚えることだろう。



〈事務局からのお知らせ〉

◆四国地区指定強化選手の合宿

小・中学生のジュニアを対象にした四国地区の強化選手は男子15名、女子14名計29名が指定されています。この強化選手のために、四国のゴルフ場約半数が、コースや練習場の開放など、ご協力をいただいているところです。

昨年まではルールやマナー、基礎体力の強化に重点を置いてきましたが、今年からトップアマの崎山俊紀氏らの指導でラウンド研修を含む実践的な合宿研修を行うことになりました。

その第1回合宿を5月5・6日に実施、研修で初めてクラブを持たせてもらった子供たちは生き生きとして大先輩たちの指導を受けていました。

この子供たちが将来、松山英樹選手のように日本で、世界で、活躍する日が楽しみです。